

第4回 生命科学技術交流会 開催報告

中川 真喜子, 長砂 光治, 猪俣 加奈恵, 河村 麻紀, 山野 聖子

生命科学課

1 はじめに

この交流会は、熊本大学技術部生命科学系技術室と山口大学総合技術部生命科学課に所属する技術職員の大学間人材交流により、各自の持つ技術、業務内容、さらには双方の技術組織についての情報などを共有し、それらをもとに個々の技術職員の知識や技術の向上に繋げ、それぞれが所属する技術組織活性化の種を見出す機会を作ることが目的とし、最終的には各々が所属する大学の研究力向上へのさらなる貢献に繋げることを目標とする。

この度、第4回生命科学技術交流会を開催したので、以下の通り報告する。

2 開催概要

【開催日程】2025年12月17日(水)14:00-16:15

【開催方法】Zoom オンライン開催

口頭発表(発表10分+質疑応答5分)

【発表内容】個々の業務内容や取り組んだこと等

3 プログラム

- 14:00-14:05 開会挨拶(熊本大学 研究開発戦略本部 技術部門 生命科学系技術室 田中 栄緒)
事務連絡・司会(山口大学 総合技術部 生命科学課 生命医学グループ 中川 真喜子)
- 14:05-14:50 セッション1: 薬学と農学分野
座長(山口大学総合技術部 生命科学課 農学グループ 長砂 光治)
- 14:05-14:20 「病理分野業務内容紹介」
山口大学 総合技術部 生命科学課 生命医学グループ 大園 千春
- 14:20-14:35 「熊本大学における学生実習支援・献体処置業務の紹介」
熊本大学 研究開発戦略本部 技術部門 生命科学系技術室 基礎医学 WT 木庭 義和
- 14:35-14:50 「オゾン燻蒸装置を用いた飼育室の消毒作業の効率化」
熊本大学 研究開発戦略本部 技術部門 生命科学系技術室 生命資源 WT 岩瀬 聖
- 14:50-14:58 休憩
- 14:58-15:00 撮影 集合写真
- 15:00-15:40 セッション2: 実験動物と発生医学分野
座長(座長:熊本大学 研究開発戦略本部 技術部門 生命科学系技術室 川辺 正等美)
- 15:00-15:15 「実験動物施設での業務と課題共有～学びを軸に変える～」
山口大学 総合技術部 生命科学課 生命医学グループ 猪俣 加奈恵
- 15:15-15:30 「マウスの系統による三種混合麻酔薬の投与方法と入眠時間の検討」
山口大学 総合技術部 生命科学課 山野 聖子
- 15:30-15:45 「薬用植物園の雑草対策」
熊本大学 研究開発戦略本部 技術部門 生命科学系技術室 薬学応用 WT 志村 友行
- 15:45-15:50 閉会挨拶(山口大学 総合技術部 生命科学課 課長 山野 聖子)

4 交流会報告

参加者は、山口大学総合技術部生命科学課から12名(山野聖子, 大庭淳, 中川真喜子, 角野隆志, 猪俣加奈恵, 安森愛紗, 大園千春, 河村麻紀, 長砂光治, 井上敬之, 高田暁, 竹田重寿), 熊本大学研究開発戦略本部 技術部門生命科学系技術室から19名の計31名であった。図1は交流会の様子。



図 1. 交流会の様子

5 おわりに

本交流会の開催にあたり、熊本大学と山口大学の両大学から計 10 名の実行委員が選出された。今回は、熊本大学が主催となり、山口大学からは生命科学課の中川真喜子、長砂光治、猪俣加奈恵、河村麻紀の 4 名が担当した。実行委員会での打合せでは、従来の発表形式に加え、グループセッションや外部講師による講義など、趣向を凝らした新しい交流会の形を模索する多彩なアイデアが出されたが、今回は開催まで期間が短く来年度以降への検討課題となった。

こうした技術交流会は、多角的な視点の獲得や人脈の構築、自身のスキルの客観視など、参加者全員にとって大きな収穫をもたらす。効率的な手法や異なるアプローチといった「未知の知見」を得ることは、施設課題の解決や奨励研究などのキャリア形成における重大なヒントとなり得る。また、自身の技術を言語化して他者に伝える経験は、発信力を養うだけでなく、スキルの振り返りや不足している要素を客観的に把握する貴重な機会となり、個々の成長を強力に促す。

本交流会を通じて得た気づきや他大学との差異から見出したアクションを一人一人が業務へと還元をすることで、組織全体のさらなるレベルアップに繋がることが期待される。

最後に、主催として多大なるご尽力をいただいた熊本大学の関係者の皆様、ならびにご指導・ご助言を賜りました皆様に、深く感謝の意を表します。